

いよいよ ここから

入学して1か月半が過ぎようとしている。部活動の朝練から教室に入っての朝読書、そこからの授業。そしてお昼の給食当番、昼休みから、午後の授業へと向かう。その後すぐに清掃が始まり、帰りの会。そして、部活動へ。少しづつ慣れてきているように見えるが、上手くいかないこともあるのかもしれない。毎時間先生が代わることや初めての給食準備、清掃活動など、戸惑うのは当たり前だ。でもそのことを仲間と協力しながら一生懸命頑張ろうとする姿があることが何よりうれしい。

仲間との関係づくりはどうだろう。周りの人たちと良い関係を築いていこうと努力する姿が見られている。先日行った教育相談の中でも、人間関係を大切にていきたいと話してくれた人がたくさんいた。しかしその反面、せっかく注意してくれたのに「わかってるよ、やってるよ」なんて自分が思っていることとは違う言葉が出てきてしまい、相手も自分も傷つけてしまう場面もあるようだ。でもね、今みんな毎日授業を受けて、新しいことを覚えている。その吸収する力は素晴らしいものだ。そんなふうにたくさん勉強してわかるようになって、できるようになっていくのと同じように、人間関係の作り方も少しづつ上手になっていく。今まさに勉強中なんだ。失敗があっても、次に繋げていく前向きな気持ちを忘れずに進んでほしい。

これから体育祭に向けての活動が始まる。1年生から3年生まで、紅白に分かれて戦うことになる。1・2・3組は紅組、4・5・6・7組は白組だ。男子の「綱引き」女子の「棒引き」は学年を超えて、まさしく紅白で戦うもの。学年としては「台風の目」代表16人による「学級対抗リレー」個人競技の「障害物競走」など、学級対抗で行われる。体育委員が、ずいぶん前から準備している。先日の体育の授業も体育委員が全てを説明し、行った。そして、今日の「学年練習」はどうだっただろう。それぞれの種目のルールや隊形を説明し、実行する。それがきちんと伝わらなければ、その種目はできなくなってしまう。そんな大きな役割を体育委員が担うことになる。責任重大だ。

今年の行事は全て3年生が自分たちの最後の思いを込めて、また全校生徒にとって最高の思い出になるように、精一杯の姿を見てくれるはずだ。そして、「二中の行事はこんな雰囲気で、こんなふうに自分たちで創り上げていくんだ」と多くのことを伝えてくれるだろう。その想いをきちんと受け取って、君たちも仲間を思いやり、全力で頑張りきる、充実した楽しい体育祭にしてほしい。『温かい集団づくり』のためには『周りのために自分が行動する』このことが大切だ。その第1歩となる行事が今まさに始まる。

私たちが何かをしようとする時、そこには必ずそのために準備している人がいる。雨の日の部活動でグラウンドがデコボコになると、「このまでは次の日の活動に支障が出る」と、グラウンドをきちんと整備してくれる人たちがいる。何が準備されていれば体育祭の練習がスムーズに進むのか、周りを見て動いている体育委員がいる。その人たちのお陰で、体育祭の練習が思う存分できるんだ。その準備に対して、私たちができること、それは「一生懸命」以外にはない。そしてその次は、自分がその準備のできる人になっていく、手伝える人になっていく。いや、もうすでに「何か片付けるものが他にありますか」と聞きに来て、自分が動こうとする人が出てきている。初めての全校での行事。「自分だけ」「自分のクラスだけ」ではなく、視野を広げて、今何をしようとしているのかを感じ取り、行動できる人になっていってほしい。『温かい集団』に向かって、大きく成長していく君たちを楽しみにしている。良い体育祭にしよう。